

2011年度「ブロック宣教司牧活動計画」(舞鶴ブロック)

I 信仰と共に伸びゆく共同体を目指して

- ・司教様の年頭書簡にある「信仰パート1」の1～13項目について年間を通じ各教会が項目毎に担当し分かち合いの中で示された意向を共同祈願文の中に組み入れ朗読していく。
- ・今年のテーマである信仰(1～13項目)について読み、黙想し、祈り、観想し、互いに支えあい交わることによって、御言葉を中心とした信仰の養成に励む。
- ・綾部教会では毎月第一主日ミサ後に、信仰のわかちあいを始める。毎月第四主日ミサ後には「信仰」講話(井上神父)を依頼している。
- ・小教区適正配置の中間報告をさらに具体化するために討議を深める。
- ・1小教区2聖堂に向けて準備を進めている時、三教会から教区・福音宣教企画室の「カテキスタ養成講座」に派遣(せめて1名)」の努力。
- ・教会巡礼・親睦行事企画時に訪問教会(試練から立ち直った共同体)の精神を学ぶ機会を持つ。
- ・「クリスマス・ミサ」、「カトリックのいろは」の広告掲載を続け宣教の一環とする。
- ・教会、地区、教区等の行事へ積極的に参加をしよう。
- ・各部会の任務分掌の把握と実践において把握出来ている部門とそうでない部門等バラツキを無くす。
- ・教会から遠のいている人に、ミサや教会行事等の案内を配布して行く。
- ・司祭叙階式への参加と年間を通じ召命祈願の朗読。今年のテーマ信仰について考える。
- ・適正配置と統合について協議する。
- ・教会親睦行事担当教会(試練から立ち直った共同体に学ぶ)
- ・教会、地区、教区行事への参加(黙想会、信徒大会、集会所司会者研修会、典礼奉仕学習会等)
- ・国際ファミリーデーへの協力やボランティア活動に参加する。
- ・部会制の充実を図る。霊的成長のため、パンフレット、書籍等を積極的に活用する。
- ・「小教区規約」の浸透と担当制度を充実し、一人ひとりの信者の「行動的参加」を促すと共に小教区の自立に努める。
- ・部会制の充実を図る
- ・信仰について考える機会を作る。
- ・ブロックとして取り組む黙想会の企画、実施・その他行事の模索。
- ・聖書勉強会や各種の講座に多くの人が参加できるよう働きかける。
- ・行動目標として下記の三点
 - 1.自らを見直し、ほんまものの信仰へと歩み出そう。
 - 2.身近な人にキリストを証ししよう。
 - 3.互いにつかえ合う心を育もう。
- ・取り組みとして下記の六点
 - 1.主日のミサを大切にし、ご聖体で自分の信仰を養おう。
 - 2.教会維持費、各種献金を捧げよう。(教会維持費は、収入の3%が基本)
 - 3.教会の行事に参加しよう。

4.「信仰」の分ち合いを始めよう。

5.教会に来る事の出来ない信徒に働きかけをしよう。

6.小教区適正配置に向けて

- ・2010年度より始まった、「丹波3教会の適正配置検討委員会」において種々検討の結果及び、2010年12月8日大塚京都教区司教の構想発表により、新しい土地に新教会を建設し、(幼稚園も同一敷地内に統合)報恩寺教会は記念聖堂として残され「二聖堂一小教区」になる事を鑑み、メモリアル聖堂を如何にして自分たちで守っていくか、全信徒が教会の将来の事も合わせ、真剣に考え認識してゆく元年とする。
- ・信仰は、人間の原点であり、道徳的、霊的な基盤となるもので、真理を探究し正義を押し進める原動力となります。京都教区の年間テーマ「信仰」について、私たちも「信仰」が強められるよう、また深く理解できるように取り組んでいきます。
- ・歴史ある西舞鶴小教区の「信仰の遺産」を表現することで私たちの信仰を振り返り、未来への展望をはかります。
- ・一人ひとりの尊厳を大切にしながらみんなで共に進んでいきます。
- ・各講座(カトリックのいろは他)に参加しカトリックの教えを共に学びましょう。
- ・自分たちでもカトリックの教えを共に学ぶ機会を持ちます。「学びの集い」毎週日曜日実施。
- ・連絡網の更新整備を図り、新しい信者の方、移動された方などにもコミュニケーションをとりやすくします。
- ・信徒の活動(報告、連絡、お知らせ、予定等)が組織ごとに一覧出来るボードを設置し、活動の活性化、円滑化をはかります。

Ⅱ ミサに多くの信徒が集う共同体を目指して

- ・サン・ロレンソ福知山コミュニティとの連携を強めていく。
- ・部会制の充実を図るため小教区評議会にサン・ロレンソコミュニティのメンバーの参加を。
- ・日本人信徒は、出来る限り英語ミサにも参加を。英語ミサのない主日には、フィリピン人信徒も日本語ミサへも参加を。(西舞鶴教会)
- ・集会司式者・臨時の聖体奉仕者の育成。
- ・滞日外国人が教会に入りやすい環境を整える。
- ・教会から遠のいている人に、御ミサや教会行事等の案内を積極的に行う。
- ・毎週水曜日のロザリオの祈りも、レサール神父時代から各地区の当番制により継続して実施しており、さらに命日祭(十日祭・三十日祭)もロザリオの祈りの日に信徒だけで実施しているが、これを標準化すると共に、さらに多くの信徒が参加するよう働きかける。
- ・2008年度から始まった「カトリックのいろは」への参加は、今、10人程度であるが更に多くの信徒が受講するよう働きかける(報恩寺教会)。
- ・ミサから離れている方々がキリストの歩みを少しでも感じられるよう取り組んでいきましょう。
- ・滞日外国人信徒と共に共同体を進めるため、英語ミサにも積極的に参加、待者をするなどにより、交流をはかります。
- ・西舞鶴教会の状況がわかるようホームページの更新を細かくします。

Ⅲ 子供たちと共に成長する共同体を目指して

- ・三教会合同子供のための行事への参加。
- ・「子供と共に捧げるミサ」に多くの子供たちが参加できるよう促す。
- ・青少年のサマーキャンプを実施する、日（土）曜学校の充実を図る。
- ・待者合宿や広島巡礼等に多くの子供たちが参加できるよう促し、支援する。
- ・子供達には、バザーやクリスマス等の教会行事で一役を担ってもらい、教会の一員である意識付けを行う。
- ・毎月第3日曜日の「子どもと共に捧げるミサ」を継続し、子どもたちへ積極的な参加、信徒一人一人が支援をする。
- ・教区・福音宣教企画室による京都北部地区開催予定の「病者・高齢者訪問講座」に参加しよう。
- ・教区・福音宣教企画室の「役員研修会」に参加しよう。
- ・集会司式者・臨時の聖体奉仕者は日々研鑽に務める。
- ・信徒の方々に生涯養成と信徒の奉仕職についてアンケートを実施し、ブロックの研修会テーマとして活用する。
- ・身近な場所で開催してくださる講座「カトリックのいろは毎木曜日」に参加しよう。
- ・「子供とともに捧げるミサ」に多くの子供たちが参加できるよう促す。
- ・青少年のサマーキャンプを実施する。
- ・日曜学校の充実を図る。
- ・待者合宿や広島巡礼等に多くの子供たちが参加できるよう促し、支援する。
- ・子供達にバザーやクリスマス等の教会行事に一役を担ってもらい教会の一員である意識付けを行う。
- ・毎月第3日曜日の「子供と共に捧げるミサ」を継続し、子供たちの積極的な参加を支援しましょう。また、同時に、困難の中にいる子供たちの事や、他の地域の子供たちにも広く目を向け（年齢、地域、環境）ます。
- ・青年の集いを実施します。

Ⅳ その他

- ・教区・福音宣教企画室による京都北部地区開催予定の「病者・高齢者訪問講座」に参加しよう。
- ・教区・福音宣教企画室の「役員研修会」に参加しよう。
- ・集会司式者・臨時の聖体奉仕者は日々研鑽に務める。
- ・信徒の方々に生涯養成と信徒の奉仕職についてアンケートを実施し、ブロックの研修会テーマとして活用する。
- ・身近な場所で開催してくださる講座「カトリックのいろは」（毎水曜日：東西舞鶴教会。毎木曜日：丹波三教会）に参加しよう。
- ・社会の弱者と連帯について取り組んでみよう。
- ・教区の「正義と平和」の問題について、取り組み運動に参加。
- ・重要書類・資料等の保存については、無人の神父館であるため、2009年度に耐火書庫を購入し保存しているが、二聖堂一小教区なることに伴い、信徒名簿の整備に努める。
- ・教会他の維持管理について、神父館の屋根が相当劣化しており、一部雨漏りもしかけたので、適正配置の事も考慮しながら、最低限の補修をおこなう。
- ・適正配置の流れに従い、三教会の評議会の統一、財務システムの統一、共通のミサ奉仕に関して検討作業を開始する。